

新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）  
及び新規上場申請のための四半期報告書の適正性に関する確認書

2022年 1月 14日

株式会社東京証券取引所

代表取締役社長 山道 裕己殿

会社名エッジテクノロジー株式会社  
代表者の 代表取締役社長  
役職 住本幸士  
氏名(署名)

当社の代表取締役（代表執行役）社長である住本幸士は、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書に不実の記載がないものと認識しております。

なお、不実の記載がないと認識するに至った理由は、以下の通りであります。

1. 新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部) 及び新規上場申請のための四半期報告書の作成にあたり、「企業内容等の開示に関する内閣府令」、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」及び「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」等の関係法令に基づき、全ての重要な点において適正に記載されていることを確認しております。
2. 新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部) 及び新規上場申請のための四半期報告書の作成においては、業務分担と責任部署が明確化されており、各責任部署において適切な業務体制を構築しております。
3. 毎月1回開催する定例取締役会及び必要に応じて開催する臨時取締役会において、重要な経営情報及び業務の進捗状況等が適切に報告されるとともに、重要事項の意思決定を行っております。
4. 監査役は、取締役会への出席、監査役監査の実施等を通じて、取締役の業務執行を適切に行われていることを確認しております。
5. 内部監査担当者は、内部監査及び内部監査結果の報告の独立性を確保した上で、内部管理体制の適正性や有効性を定期的に監査しており、指摘事項及び改善状況等について、その結果を代表取締役社長へ報告しております。
6. 会計監査人である有限責任監査法人トーマツによる監査において、新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部) 及び新規上場申請のための四半期報告書等の記載内容について、重要な指摘事項が無いことを確認しております。

以上